

中野駅周辺のまちづくり・産業振興について

I 中野駅周辺のまちづくり

1 中野駅地区のまちづくり

（1）中野駅地区の検討経緯

平成17年	交通結節機能等調査検討
平成18年12月	「中野駅周辺まちづくりグランドデザイン」の策定
平成19年	バリアフリー化等改善検討・中野駅地区整備計画案の検討

（2）整備推進上の課題

平成18年度は、駅舎等のあるべき姿等について、複数の整備構想案を検討した。今後の検討課題は、下記のとおりである。

① 駅将来像のあり方に係わる調整

駅とまちの連続性や歩行の快適性の向上、まちの入口と駅の入口との整合性を図る必要がある。中野の玄関口にふさわしいシンボル性や風格のある駅舎の改良等について、駅利用者のアクセスの改善及び、駅周辺の回遊性や一体性の向上等について、関係者間で調整を行う必要がある。

② 新北口駅前広場立体構成案の具体化と絞込み

都市レベルでの空間構成や施設配置のあり方等を踏まえて評価を行い、複数の駅前広場整備構想案を絞込む。

③ 現北口及び南口の駅前広場の整備のあり方

まちの玄関やシンボルとして、待合せや賑わい・交流の場としてのあり方を踏まえ、検討を深める必要がある。

④ 駅南西地区への導入空間の確保

駅から駅南西地区へのアクセスのために、橋上駅舎及び通路等の検討を行い、南西地区の導入空間を確保等について、検討する必要がある。

⑤ 駅前広場の駐車場規模の検証

地域の駐車特性を踏まえた「駐車場整備計画」を策定するなかで、改めて検証する必要がある。

(3) 本年度の取り組み

① 検討委員会の設置

② 中野駅地区整備構想案の策定

③ バリアフリー化に向けた整備

2 中野駅南口地区のまちづくり

(1) 経緯

平成 10 年 4 月	関係地権者による「再開発協議会」発足
平成 13 年 5 月	東京都市計画都市計画区域の整備、開発又は保全の方針により再開発促進地区の指定
平成 16 年 9 月	「中野二丁目地区再開発協議会」発足
平成 17 年 3 月	市街地再開発事業に係る基本調査
平成 17 年 10 月	関係地権者による「再開発準備組合」発足
平成 18 年 3 月	中野駅南口地区周辺まちづくり推進に係る調査
平成 19 年 3 月	中野駅南口地区およびその周辺のまちの将来像とまちづくりの方針・方向性に係る調査・検討

(2) 課題と取組み

① 中野駅南口地区の現況と課題

- ・商業・業務集積、歩行者空間の不足し、駅周辺商店街の回遊性が乏しい
- ・駅前立地にふさわしい景観形成と土地の高度利用が実現できていない
- ・駅付近の人・車の交通動線の錯綜し、駅前広場の交通混雑を招来している
- ・南北の動線が高架下通路のみとなっており、南北の回遊性が不足
- ・全体的に建物の機能更新が進んでいないため、雑多な駅前景観となっている

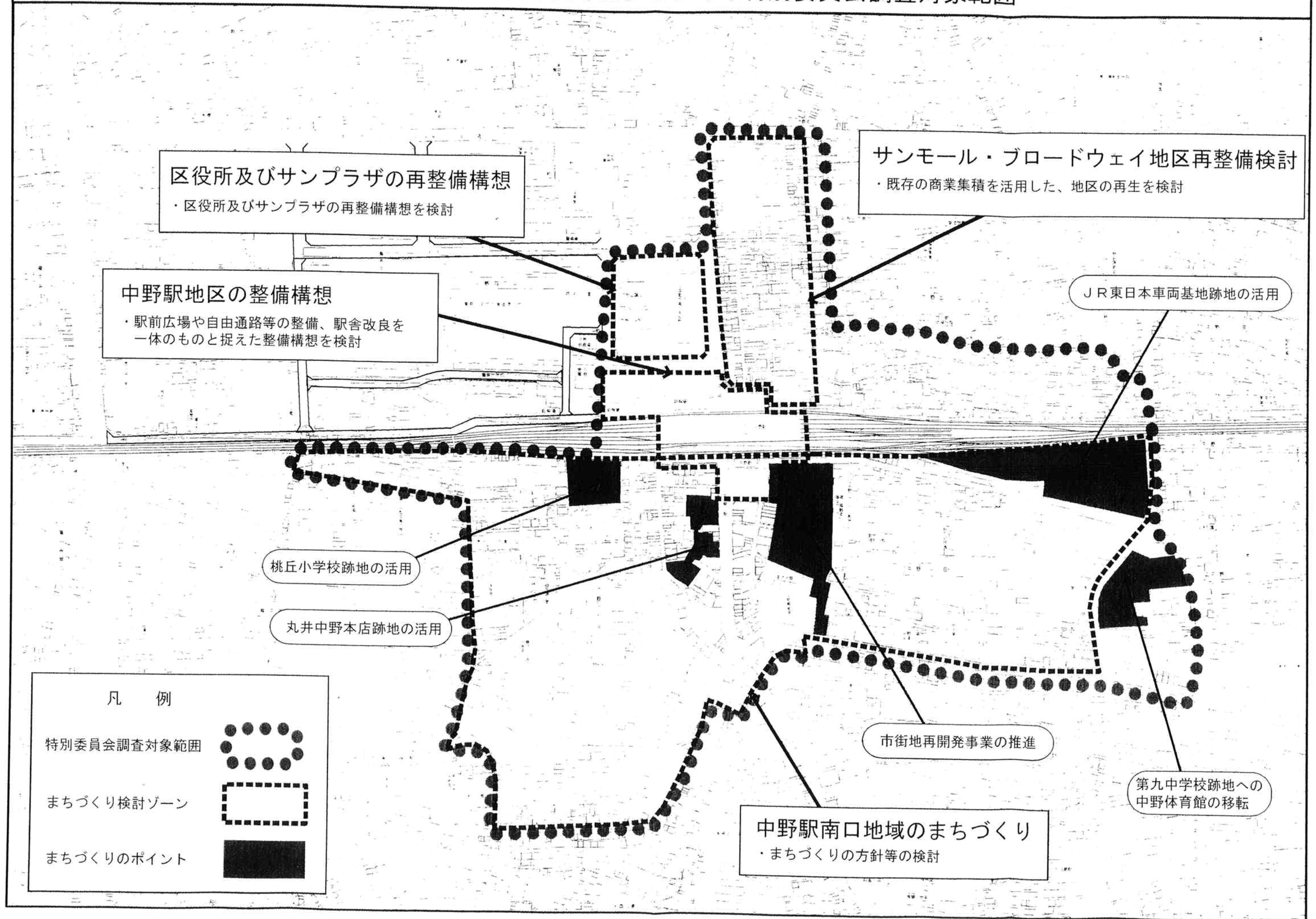
② まちづくりの方向性

- ・中野通り沿道の特徴あるかつ調和のとれたまち並み形成
- ・中野の南の玄関口にふさわしい景観形成と土地の高度利用
- ・中野駅整備とあわせた南北ネットワークの整備
- ・駅前広場の歩行者の安全性を確保するための動線整理や広場空間の整備
- ・中野駅の交通結節機能強化を図る中で、北口駅前広場との機能分担を行い商店街の活性化と南口全体の魅力づくり

③ 今後の取組み

- ・中野駅南口地区のまちづくりについては、中野駅地区の整備、東京都住宅供給公社中野住宅を中心とした中野 2 丁目地区市街地再開発事業などの開発整備を契機としながら、地元にもちづくりの機運を高めながら、整備の方針、計画を検討していく。

交通対策・中野駅周辺まちづくり特別委員会調査対象範囲



平成19年（2007年）7月2日

交通対策・中野駅周辺まちづくり特別委員会

区民生活部産業振興担当

中野駅周辺のまちづくり・産業振興について

Ⅱ 中野駅周辺の産業振興

少子高齢社会や情報化、地方分権の一層の推進など社会経済化環境が大きく変化する中、持続的な中野の繁栄を維持していくためには、自立した経済基盤の確立が急務であり、産業の振興と雇用の確保は重要な課題である。

このような背景をふまえ、区を中心部に位置する中野駅周辺の産業誘致や商店街の活性化は、『キラリ中野 まちの魅力と新しい活カ―中野駅周辺まちづくりグランドデザイン』（2006年12月）の考え方に基づき、まちづくり担当等と連携しながら、次のような観点から実現に向けて取り組むこととしている。

〔産業の誘導〕

- ・平成18年度、中野区の地域特性に適合する産業及びその動向を明らかにするとともに、企業の移転意向等を調査し、企業の区内立地を促進する施策を導き出すことを目的として「中野区産業環境基礎調査」を実施した。

- ・この結果をふまえ、基本的な取組み方向として、①IT・コンテンツ産業の誘導、②中野の市場性や交通利便性、コストパフォーマンスの高さを売りとしたシティセールスの展開、③大学等教育関係機関との連携による人材育成支援を目指す。

〔産学の連携〕

- ・警察大学校等跡地では、すでに二つの大学が用地を取得している。これらの大学では、情報通信、健康などの分野が想定されており、区内への産業誘致に当たって共同研究など産学連携の可能性を働きかけていく。また、調査の結果、企業からの要望として出された人材育成に対する支援については、「経営・学び座中野」の内容を拡充していく。

〔まちのにぎわい〕

- ・にぎわいのメッカとしてのサンプラザ、区役所地区に導入すべき商業機能のイメージづくりや駅南北の商店街をはじめとする中野区の地域資源の観光面からの発掘・見直しを通じ、積極的に区外に発信していく。